



# 平成武師道

## (人間活動学)

### 仁

#### 006 受けた恩は倍に返す

私は今までの人生、多くの人々に出会いました。

出会いの中には、良いことも悪いことも学ぶことができました。

とにかく人の出会いは、一番大切に何よりも学べるということです。

特に、私が困っているときに手を差し出してくれた人から学んだ事。

恩を受けてからの事です。

受けた恩は、物やお金で返したくても返せないときがあります。

受けっ放し、貰いっ放しで当たり前。

これではただの物乞いです。

そんなときはまず、心から感謝し、いつか受けた恩の倍以上返す気持ちを持つのです。

この気持ちが自分を成長させ、一番の恩返しにつながるのです。

やはり、見返りを求めずに差し出してくれた恩だからこそ、何としてでもそれ以上の恩返しをしたいものです。

#### 007 弱いものを助け、本当に強いものは後押しする

力の強いものが、弱いものをいじめることがありますね。

人間とは弱い生き物です。

弱いものをいじめ、少しでも優位に立ちたくなるのですから。

しかし、それではもつと力の強いものが出てきたらどうでしょう。

結局、いじめられ、頭をベコベコ下げ、陰ではそいつの悪口が関の山。

いじめた側もいじめられる側が変わるということ。

何が強いのがわかりやしません。

だからこそ、本当に強いものにならないかならないのです。

いろいろ学び、いろいろ力をつけます。

それから、弱いものに手を差し伸べ、背中を押してあげます。

これも仁です。

力の弱い人は、心まで弱くなってはいけません。

本当に強い人がいたら、けっして妬みや悪口を言ってはいけません。

少しでもいいから応援、後押しするのです。

必ず学ぶところが見え、共に成長できるはずですから。

強きを挫き、弱きを助ける。そして本物の強きは後押しする。